

## 8. 学校評価～中間評価の結果と改善策～

### 学校教育目標

確かな学力をもち、心豊かでたくましく生きる子の育成  
～自力、全力、底力を発揮して～

#### ① 確かな学びのある学校づくり

- 児童アンケートでは、①の柱の肯定的な割合が90%を超えていて、児童は意欲的に授業に取り組み、自分の考えを発表したり、友達の話の聞いたりしている。
- 保護者アンケートでは、①の柱の肯定的な割合が91%で、保護者は家庭学習に取り組んでいると感じているし、基礎的な学力もついてきていると思っている。
- 教職員アンケートでは、①の柱の肯定的な割合が100%で、教員もプランの取組や朝学習や帯タイムなどはしっかりと取り組ませ、組織的に実践できている。
- ▲検証問題の結果、しっかりと書く力がついていない。
- ▲基礎的な学力が身につけていないと感じている児童がいる。
- ☆学力向上プランでの取り組みを授業だけでなく、家庭学習やテストの際もより意識させ取り組ませる。
- ☆基礎基本の習熟を図るよう、授業での「分かった」を大切にしていける。そのために、児童同士の問い返しや、分かりやすく伝えるための対話を児童も教員も意識していく。

#### ② 温もりのある学校づくり

- どの項目も肯定的な意見が多い。
- ▲保護者アンケートの⑥「学校は人間関係づくりを通して、いじめの未然防止につとめていると思いますか」と⑧「お子さんに家でどの役割(手伝い・自分の仕事)をさせていますか」について、割合がやや少ない。
- ▲児童アンケートの⑥「困っていることがあったら、先生などに相談している(相談しようと思う)」について、割合がやや少ない。
- ☆アンケートや蛸島っ子面談、なかよし集会で児童同士が交流しやすい場の設定や先生に相談しやすい雰囲気をつくる(高める)。
- ☆行事などのふりかえりで異学年と交流し合う。付箋などを用いて掲示できるようなものにする。
- ☆家族の一員として、道徳などの授業を通して、進んでお手伝いするよう意欲を高める(声かけをする)。

#### ③ 健康な体を育む学校づくり

- すべての項目で、肯定的意見が70%を超えている。特に、安全に関する指導・取組についての肯定的割合が高い。
- ▲子どもが家で積極的に運動をしていると答えた保護者の割合が、78.1%と低い。
- ☆家でできる簡単なストレッチ方法等を提案し、家庭での運動に取り組ませる。

#### ④ 地域と連携した郷土愛を育む学校づくり

- ④の柱の肯定的意見は70%を超えている。
- ▲④の柱の強肯定は46.1%。取り組みはしているが、不十分だと感じている職員が多い。
- ☆地域の人的・物的資源を活用した活動を計画的に実施する。今年度は奥能登国際芸術祭も開催されるので、地域の作品を鑑賞するなどして活用していく。

#### ⑤ 教職員のチーム力を活かす学校づくり

- 肯定的意見はすべて100%である。
- 共通理解を図りながら、教育活動を行うことができおり、組織として行う、という意識が高い。
- ▲さらに定時退校日や退校目標時刻を意識して、時間外勤務の時間削減を図る必要がある。
- ☆C4THの掲示板や職員室の連絡黒板を使って、マイ定時退校日や定時退校日を意識させ、見通しをもって業務を行うことを呼びかける。